

2015.2.27
発行No.
34

えひめの保育

発行者／愛媛県保育協議会 発行所／愛媛県保育協議会
 会長／伊東 道子 松山市持田町三丁目8番15号
 編集責任者／大野 京子 愛媛県社会福祉協議会内



いい年になりますように！

大洲市
しめ縄づくり



つぶやき②

おまつり

「わっしょい、わっしょい」と神輿を担いでいた時、掛け声に合わせて動く神輿を見て…

「おみこしも楽しそう！
お祭りが楽しいんだね。一緒だね！」



つぶやき①

イケメンになった！

運動会の入退場門に飾る自分の顔を
描いていた時、完成してA君。

「先生、イケメンになってしもた！」

大丈夫！ みんなイケメンだよ。



氷のお魚 とれたよ！

内子町



最初の話し言葉は 最初の歌だった



愛媛県保育協議会会長 伊東 道子

4月には、いよいよ子ども子育て支援新制度がスタートします。これまでいろいろな会議や説明会に参加してきましたが、真剣な思いからでしょうか、机をたたいて激昂される方、不安を口にされる方、いろいろな方に出会いました。

「最初の話し言葉は最初の歌だった」という言葉があります。素敵な言葉です。

赤ちゃんは、言葉の意味はまだ理解していませんが、語りかけてくれるやさしい響きはちゃんと感じています。愛おしそうにあやしてくれる声は、まさしくきれいなメロディに感じられるのではないのでしょうか。言葉は人のイメージを左右します。何を話しているかよりも、口調や表情や態度で人のイメージは80%決定されるのだそうです。

昨年訪れたスウェーデンの保育園では大きな声が全く聞こえませんでした。日本のテキパキ動く保育士さんからは考えられないほどのんびりしています。そのおかげで園の雰囲気や穏やかで居心地が良いのです。考えてみれば当然です。保育士基準数が全く違うのですから。日本の、3歳児20人を1人で保育するには、「さあ、皆さん！」と、先生がクラスの子どもたちに呼びかけて、時間に沿って1日を過ごしていくことが、安全で効率的なのです。でも、子育てと効率とは相反するものです。一見無駄な回り道や繰り返しが子育てであり、1対多ではなく1対1の関係を求められるべきだと思ふのです。外から日本を見ると、日本の保育士さんの能力の高さを改めて感じます。それと同時に、日本の子育て支援に対する社会的関心の低さや制度の不十分さも感じます。

新制度では3歳児の基準が20…1から15…1になりました。保育の質向上と保育士処遇改善は同時に進めなければなりません。どちらも最も必要なものであると引き続きアピールしていきます。できれば笑顔で歌うように。なぜなら、怖い顔で怒鳴っているのは感情は伝わっても本当に伝えたいことは相手に伝わらないと思うからです。そう思いませんか？

『最初の話し言葉は最初の歌だった』 ジャン・ジャック・ルソー



愛媛県保育協議会 ホームページのご紹介

<http://www.ehime-hoiku.jp/>



愛媛県保育協議会では、平成24年から子どもや子育てに関する情報提供と会員相互の情報交換を目的にホームページを開設しています。

随時更新される新着情報は、トップページ内の「NEWS&TOPICS」からご確認いただけます。



〔ホームページに掲載している主な内容〕

・組織に関する情報

「愛媛県保育協議会って？」では、本会のあゆみや仕組みなどをご覧ください。

「事業計画・報告」では、過去の研修・大会等の日程や収支予算書等をご覧ください。

「愛媛の保育所」のページでは、県内保育所（園）の情報をご覧いただけます。

・保育所でのできごと・つぶやき

「保育所・保育士の皆さまからのつぶやき」を投稿することができます。どんどん投稿してください。

「東・中・南予 各支部の取り組み」も随時掲載しています。

・会員専用ページ

本会会員を対象とした会員専用ページを設けています。

本会ホームページを多くの皆さまにご活用いただけるよう、今後も内容の充実に取り組み、随時新しい情報をお届けします。

専用ページへのログインID・パスワードをお忘れの場合は、下記事務局にお問い合わせください！

結構いい、楽しかった！



皆さまからの投稿をお待ちしています。

会員の特権

愛媛県保育協議会の会員になると…

・会員専用ページにログインすることができます。

過去の研修会でご講義いただいた講師一覧や各支部の「子ども子育て会議」の状況等をご覧いただけます。

・各種助成金を利用することができます。

保育所長専門講座及び主任保育士特別講座の全額助成・各支部の発表指導助成・被災地支援活動の助成を行っています。詳細や申請書等も会員ページに掲載していますので、ご覧ください。

詳しくは…

愛媛県保育協議会事務局
TEL 089-921-8566

編集後記

年が改まり未年になりました。風水害や火山の噴火等、思いもよらない自然災害が多発しました。対策が急がれていますが、ヒジジのように仲良く助け合って乗り越えていきたいですね。

新年度から子ども・子育て支援新制度が始まりますが、一番大切なことは「子どもの幸せ」です。それぞれの町や個々の園で環境は異なりますが、子どもの幸せを一番に子育てのお手伝いをしていきたいですね。

総務広報部会一同



平成26年度の私たちの取り組み

本会では1年間を通じ、様々な研修会を実施しています。
ここでは、前号でご紹介できなかった研修会内容をご紹介します。

障がい児保育研修会

10月30日～31日 県総合社会福祉会館

○講義Ⅰ「障がい児とのコミュニケーション方法と家庭支援の充実」

講師 兵庫教育大学院 学校教育研究科 講師 小川 修史氏
自尊心を収入（やる気・褒められる・達成感・勝つ・要求が伝わる）と支出（我慢する・怒られる・敗北・要求が伝わらない）に例えて考えた時、保育士や支援者ができることは何か…。とにかく収入を増やし、自尊心を高めることの大切さを学ぶことができました。

○パネル・グループ討議「配慮を要する子どもや家庭への支援にむけて」

パネラー（新居浜市） 中萩保育園 曾我部 彩乃
（喜多郡） 内子保育園 松田 幸子

保護者と共通意識を持つてかわかることで、信頼関係が深まり地域の機関への連携もスムーズに進めることができます。また、担任だけでなく園全体で受け止めかわつていくこと等意見交換をすることができました。

○講義Ⅱ「発達と障がいを考える」発達障がい支援から見直す保育・教育の在り方」

講師 愛媛大学教育学部 特別支援教育講座 教授 吉松 靖文氏
障がい児の特性を生かした保育や教育に取り組むことの大切さ。特性を生かす保育をする中で、聞く・見る・話す等知識の深まる内容を工夫し、言葉や体を育て自己管理ができる子どもを育てていく、最終目標は大人になった時に必要な力を育てることであることを話されました。

○講義Ⅲ「発達障がいに早く気がつき早く支援してあげる」

講師 NPO法人国際臨床保育研究所 所長 社会学博士 辻井 正氏
発達障がいの特性は、乳児期より発せられていることが、データ上がってききました。子どもが成長してから悩む家庭も多くあり、幼児期（特に就学前）の検査の充実が早期発見の鍵となります。これからの特別支援は発達予測の知識を学ぶことの重要性を話されました。

【参加者の声】

- ・2日間とても考えさせられ、知らなかった知識も増え良い研修会となりました。今、障がい児を担当していますが、できれば4月にこの講義を受け保育をスタートしたかったです。あと5か月ですが今回学んだことを頭に入れ頑張ろうと思います。
- ・障がいとどうかかわるか、再確認できました。たくさん褒めて、たくさん楽しい時間が過ごせるようにしたいです。
- ・発達障がいをもつ子どもの食育、学校との連携、家庭への支援、グレーゾーンの子どもに対する取り組みなどが聞きたいです。

0・1歳児保育研修会

9月25日～26日 ひめぎんホール

○講義Ⅰ「0・1歳児の発達と子どもの育ちを支えるための保育実践」

講師 大阪総合保育大学 児童保育学部
～乳児保育の継続性と主な担当者～
学部長 教授 大方 美香氏

一人一人のリズムに合わせて、発達を保障しながら成長に積み残しのないようにかわり、周りの大人からかけがえのない存在として愛され、認めてもらえるような保育実践の大切さを教えていただきました。

○パネル・グループ討議「乳児期の育ちに望ましい保育とは」

パネラー（伊予郡）二名保育所 野本和歌子
（八幡浜市）白浜保育所 高島 範子

実践事例を通して日々の取り組みを発表しました。家庭環境が多様化して、子育て支援・親支援が重要視されており、職員間の連携を大切にしながら一人一人の育ちを見つめる大切さを話し合いました。

○講義Ⅱ「絵本は大切な心の栄養です」保育で絵本を楽しむ」ツウ」

講師 株式会社チャイルド本社絵本編集部 高崎 真氏

絵本は遊ぶものです。遊ぶ3つの要素は①想像する、②絵を読む、③会話遊びです。想像の翼を広げ、表現を広げるために、タイミングを考え、楽しんで読むようにと読み聞かせをしていただきました。参加者は、子どもの気持ちになって感じることもできました。

○講義Ⅲ「質の高い乳児保育実践をめざして」

講師 帝塚山大学 現代生活学部 准教授 西村 真美氏
養護を基盤として発達援助を行い、保育環境（人的・物的・社会的）を整えながら、個別化と少人数制により、丁寧に保育していくことの大切さを説かれました。

【参加者の声】

- ・初めて県の研修会に参加しましたが、講演も楽しく、今の自分の保育について気づかせてもらうことができ、勉強になりました。
- ・あたたかい日常の保育から離れた2日間の貴重な時間でした。今回、講演の内容がすぐに実践に結びつくものばかりで大変よかったです。保育が楽しくなりました。
- ・質の高い保育実践ができるよう、励みになりました。
- ・現場を離れて、講義を聞き勉強できることをありがたく思います。これを保育に返していけるように頑張りたいと思います。

保育事業研修大会

8月24日 ひめぎんホール

子ども子育て支援制度の本格施行とともに、保育に係る施策、制度が大きな転換期を迎えようとしている現状の中、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」が公示され、保育現場では、これまで以上に保育力を高め、養護と教育を大切にしたい保育実践を積極的に発信することが求められています。

そのため、一人一人の子どもの育ちに真剣に向き合い、子どもが育つ環境としての保育所（園）の役割を十分理解するとともに、全ての子ども最善の利益を保障する保育を充実させていくことを目的とし、本大会が開催されました。本研修会には、およそ500人の保育所職員、関係者が参加しました。

○式典

参加者全員で児童憲章や全国保育士会倫理綱領の朗読と花のおさなごを斉唱後、愛媛県保育協議会長表彰を受賞された9名の方々の表彰式が行われました。

○行政説明「愛媛県内の保育の現状等について」

説明 愛媛県保健福祉部生がい推進局子育て支援課
愛媛県の保育所・保育士（登録者も含む）入所児の推移などの現状から新制度の利用手順、公定価格の考え方を説明後、利用者負担について基準の具体的なイメージの説明をされました。また、幼稚園免許取得の特例概要についても説明がありました。

○中央情勢報告「子ども子育て支援新制度と今後の保育・保育所運営」

講師 全国保育協議会 副会長 佐藤 秀樹氏
日本における保育の歴史から、現制度が施行されるに至った経緯、新制度の主なポイントや意義をわかりやすく説明していただきました。その中で「保育とは」についても詳しく説明されました。その後、認定区分や確認制度、地域子ども子育て支援事業についての説明がありました。

○講演「子ども子育て支援新制度の方向」

講師 白梅学園大学 子ども学部 教授 無藤 隆氏
これまでの2つの説明を踏まえ、これからの方向性を講義されました。「認定こども園教育・保育要領」の説明をもとに、保育所と幼稚園の選択肢の整理や質の改善・向上の仕組みを安定させる必要性、格差の改善などこれから変革していく必要性のある部分について具体的なお話をされました。最後に、幼児教育の重要性に触れ、小学校教育との連携・接続の大切さを話されました。

【参加者の声】

- ・新制度について、詳しい報告、講演があり、これからの保育園のあり方を自身のものとして受け止めるいい機会になりました。
- ・新制度の話が主だったので、興味関心はありますが、新制度に向けての具体的な内容や事例や実践園の話が聞きたかったです。講演の内容が重複していました。
- ・今後、どうしていくのか、愛媛県としての動向などその都度、しっかりと伝えていってほしいと思います。
- ・書籍の販売コーナーでは、普段なかなか手に入らない指導書や絵本の販売があったので、よかったです。

全国保育士会研究大会

10月16日～17日 香川県高松市

○第2分科会

「保育内容を深める」

子どもの発達と環境（3歳児以上児）」

発表「子どもの主体性を育てる日課の検討」
神拝保育園（西条市） 明神都貴

本分科会では、「養護と教育」を一体的に提供する保育所保育の特性を生かした「3歳児以上児の子どもの発達保障」に関する研究を通して協議が行われました。

愛媛県は神拝保育園・明神保育士から「子どもの主体性を育てる日課の検討」をテーマに、研究の目的を「どの様な保育が、子どもの発達を保障し主体性を育てることができるのかを、保育実践を通して明らかにする」とした研究報告がありました。

子どもの実態から課題を見つけ、チェックリストの分析を経て環境の見直しから実践へと、近藤園長の保育に対する情熱をベースに、すばらしい研究成果の報告でした。助言者の大妻女子大学家政学部長・阿部和子先生からは、「保育の本質にかかわる点に気づき、課題の具体的な接近として日課を見直すことに取り組んだ点は、保育の質の向上に直結するものであり、高く評価されてよい。」との総評があり、さらに今後の取り組みにも大きな期待が寄せられたところです。

愛媛県（神拝保育園）の保育実践が、全国の舞台で高く評価されたことは、今後、会員の大きな自信になり、愛媛県の子どもの笑顔につながることに期待したいものです。

保育所給食担当者研修会

11月26日 県総合社会福祉会館

○講義Ⅰ「家庭と地域の連携による食育の推進」

講師 白梅学園大学子ども学部 教授 師岡 章氏
食をめぐる気になる「3つの変化」子どもの変化、家庭の変化、食環境の変化がある。時代の変化に対応した今後の食育実践のあり方が大切だと話されました。

○パネルグループ討議「家庭と地域の連携による食育の推進」

パネラー（西条市） 玉津保育園 尾野 千津子
（伊予市） 下瀬保育園 濱岡 和恵

園で進める食育を家庭や地域に取り入れたこと、子どもと保育士、給食担当者との連携で食への関心を深めたこと等、様々な食育活動について情報や意見の交換ができました。

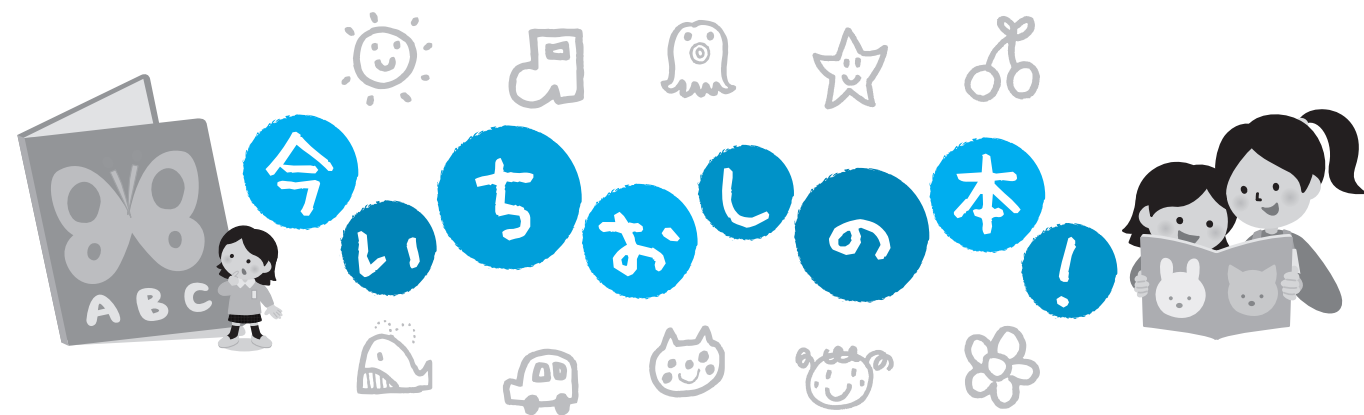
○講義Ⅱ「命のバトンをつないでいくこと」

講師 料理研究家&食育アドバイザー 中村 和恵氏
食卓は人間関係をつくる場所、日々が命の授業で「小さなありがとつ」をたくさん見つけよう。一人一人の人生を輝かせるために何が大切かを分かりやすく説明していただきました。

【参加者の声】

- ・師岡先生の話は、調理員だけでなく、保育士も聞くことができれば、調理と保育の両面から学ぶことができると思います。若い保育士にも講義を受けてもらいたいです。
- ・他園での取り組みを知ることができ、勉強になりました。園に持ち帰り、保育士との連携、協力を大事にして、食育に取り組んでいきたいと思います。
- ・県下の担当者が集まる機会なので、グループ討議の時間を増やしていただき、もっと情報交換がしたいです。





平成27年度愛媛県保育協議会 研修会等予定表

No	研修会名	日 程	場 所
1	愛媛県初級保育研修会	6 / 10(水)～11(木)	ひめぎんホール
2	愛媛県保育士関係者交流セミナー	6 / 16(火)	ひめぎんホール
3	愛媛県子育て支援専門研修会	7 / 8(水)～9(木)	ひめぎんホール
4	愛媛県保育士研修会	7 / 28(火)～29(水)	ひめぎんホール
5	第60回愛媛県保育事業研修大会	8 / 25(火)	ひめぎんホール
6	愛媛県0・1歳児保育研修会	9 / 15(火)～16(水)	ひめぎんホール
7	愛媛県障がい児保育研修会	10 / 22(木)～23(金)	ひめぎんホール
8	愛媛県保育所給食担当者研修会	11 / 5(木)	ひめぎんホール
9	愛媛県主任保育士研修会	12 / 2(水)～3(木)	松山市総合コミュニティセンター
10	愛媛県保育所長研修会	1 / 20(水)	ひめぎんホール

※上記日程・会場等は、変更になる場合があります。また、来年度は研修数が増える可能性があります。あらかじめご了承ください。

平成26年度全国保育協議会会長表彰

保育事業に多大な貢献をされた方に贈られる標記表彰の被表彰者は次のとおりです。おめでとうございます！

No	支部名	保育所（園）名	氏 名
1	四国中央市	川之江保育園	川 上 美和子 氏
2	今治市・上島町	城東保育所	浜 田 栄 子 氏
3	松山市	栗井保育園	大 田 久美子 氏
4	伊予郡	松前保育所	玉 田 博 子 氏
5	北宇和郡	好藤保育所	藤 中 美智江 氏
6	宇和島市	大浦保育園	川 井 昌 子 氏

保育所問題対応協力金・ベルマーク・スキャンボ募金について

【保育所問題対応協力金】

合 計 925,950円

昨年末にご協力いただきました「保育所問題対応協力金」は、皆さまのご協力により、今年度も目標額を達成することができました。この協力金は、全国保育協議会が保育制度の充実強化を目指すために活用させていただきます。たくさんのご協力をいただき、ありがとうございました。

【ベルマーク】

本会では、継続した被災地支援の一つとしてベルマークを集めています。ぜひあなたもベルマーク収集サポーターになってください。各研修会場受付に「ベルマーク回収BOX」を設置しています。回収したベルマークは、県を通じてベルマーク教育助成財団等へ送られ、被災地や本県の保育所等への支援に役立てられています。

【東日本大震災被災地保育士会支援募金（通称：スキャンボ募金）】

2011年3月11日に発生した東日本大震災により、莫大な被害があった岩手県・宮城県・福島県では保育所が流失するなどの大きな被害がありました。震災の爪痕は大きく、3年以上が経過した今でも困難な状況が続いています。募金を通じて被災地で子どもの育ちを支える保育所・保育士を応援しましょう。

平成27年度から、各研修会場受付に「スキャンボ募金箱」を設置予定ですので、ご協力をお願いします。

いのちのはなし グー チョキ パー



もうり ひろこ 作
みずせき ゆりえ 絵

今年度の初級保育士研修会で紹介された絵本です。泣きくなった時、ひとりぼっちだと寂しかった時、周りが偉く見えてしかたない時、不安になった時…そんな時に開いてみて欲しくて作られた絵本です。

しんでくれた



谷川 俊太郎 詩
塚本 やすし 絵

生き物は、生き物を食べなければ生きていけない。人間は、動物の命をもらって生きていることや、動物に感謝して生きることを、子どもの言葉で伝えている「食育」に欠かせない1冊です。

幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説を読む



全国保育士会 編
全国社会福祉協議会

これから、すべての保育士が保育所や認定こども園で保育に従事するにあたり、幼保連携型認定こども園教育・保育要領が意図する教育・保育を理解するための1冊です。

おこだでませんように



くすのき しげのり 作
石井 聖岳 絵

何度読んでも泣けてきます。子どもたちの心の中にある「祈り」のような思いに気付くことができる絵本です。